

# INTERVIEW

3月のキラキラさんはこの人！

01

## ★紙谷 時子さん★



喜楽をご利用されるようになってもうすぐ4年。令和7年に「本当はね、学生のころからピアノが習いたかったの」「音楽室から聞こえるピアノの音が好きで、いつか自分も弾きたいと思っていたの」という何気ない会話から、喜楽にアップライトピアノが届き、リハビリを兼ねた「ピアノレッスン」の時間が生まれました。ご利用のたびに15分～30分のレッスンを受け、ご自宅では電子ピアノを購入し、毎日練習、レッスンノートも3冊目になりました。

念願だった「エリーゼのために」を松川先生にアレンジしてもらい、3月8日（日）に生まれて初めての「ピアノ発表会」にて演奏を披露されました。



### インタビュー

初めての発表会はどうでしたか？

恥ずかしかったです。上手に弾けなくてもよいと思っていたのでドキドキはしなかったけど、恥ずかしかったわ。本番は練習の時の力が出せなかったけど、とっても楽しかったし生きる力になりました。友達も応援に来てくれて「時ちゃん素敵やったよ！」と声をかけてもらってとても嬉しい経験をさせてもらいました。

演奏会の衣装は手作りと言いましたが？

ちょうど知人に頂いた緑色の生地があったので、スカートを作りました。透けないように裏地を付け、ウエストにはゴムと紐を入れてずれないようにしました。発表会に向けて準備をしている時間も楽しかったです。

出演していた他の生徒さんに手作りの巾着をプレゼントされたようですね？

小さい子供たちはどう感じたかはわからないけど演奏会の記念になったら嬉しいですね。

来年への抱負は？

まだ生きていてお呼びがかかったら、来年も是非参加したいと思っています！松川先生の優しい笑顔が励みになって頑張っていました。これからも練習を続けていきます。



### プロフィール

昭和12年1月20日生まれ 89歳 女性  
高知県生まれ

20代に大阪に来てご主人と出会い恋愛結婚。夫婦共働きでご本人は洋裁を仕事としていた。

趣味は旅行。ご主人とドイツやヨーロッパなど、ご友人とは国内の各地を訪れた。

夫が他界後、2020年にご病気をされ現在は施設で生活をされている。

松川先生より

最初は全てハ長調にしてほしいとのリクエストでしたので、白鍵のみで弾かれて参りましたが、曲を重ねていく中で黒鍵を引く事もマスターされました。「右手だけで弾く」と仰っていたのですが、念願の「エリーゼのために」を弾くためには「左手も使った方が便利です」とご説明すると左手も使って弾く練習を始められました。ピアノを活用してご本人の想いが形になっていく姿を見せて頂けたこと、私にとっても大きな学びになりました。来年ももちろんお声かけ致します。よろしく致します。

松川 千晶

